

芸術文化選奨

受賞年度：昭和53年度

受賞区分：文化賞（個人）

氏名又は団体名	なかにし よしゆき 中西 祥之		
代表者(団体のみ)		設立年(団体のみ)	
住所		会員数(団体のみ)	
ホームページ			

受賞時の業績概要	経歴・業績・近年の活動内容
<p>分野：音楽家</p> <p>バスーンの特徴を余すところなく生かして演奏する技量は抜群で、我が国オーケストラ界を代表する存在である。演奏活動はもとより、音楽の理論的研究にも意欲的で、特に「現代のバスーン奏法」を自費出版し、後進の指導に多大の貢献をした。</p>	<p>【略歴】</p> <p>昭和43年 桐朋学園大学音楽部卒業 昭和43年 日本フィルハーモニー交響楽団入団 米国 インディアナ大学及び同大学院音楽学部にて指導 昭和50年 名古屋フィルハーモニー交響楽団 ～平成18年 首席奏者</p> <p>元桐朋学園大学非常勤講師 米国インターナショナル・ダブルリードソサエティ・パトロン 日本バスーン協会理事 東海チェンバーソロイスト代表 東邦音楽大学講師</p> <p>【業績】</p> <p>昭和53年 「現代バスーン奏法」出版 昭和54年 昭和53年度愛知県芸術文化選奨文化賞受賞 昭和57年 ロンドンモーツァルトプレーヤーズと共演（ハリーブラック指揮クイーンエリザベスホール） 昭和59年 英国EMIレコードとソリスト契約 モーツァルト作曲「バスーンコンチェルト K. 191」をレコーディング、発売 平成7年 ウェーバー・フンメル作曲等のバスーンコンチェルト4曲をロンドンでレコーディング、発売</p>